

第196号

発行所 新潟市中央区新光町 15-2  
新潟県公社総合ビル内

公益財団法人 新潟県危険物安全協会

発行者 理事長 遠藤 幹 夫  
編集者 事務局長 山崎 俊 雄  
印刷 (株)ハイングラフ

平成27年度第2回理事会を開催いたしました  
～平成28年度事業計画案・収支予算案の承認、平成28年度臨時評議員会の招集ほか～

3月11日(金)新潟市において平成27年度第2回理事会を開催いたしました。

「平成28年度事業計画案」、「平成28年度収支予算案」などを審議していただき、提案議案全てが承認可決されました。

以下に、平成28年度事業計画等の概要をお知らせいたしますので、引き続き協会事業の円滑な実施に御理解と御協力をお願い申し上げます。

提案議題

- 第1号議案 平成28年度事業計画案の承認について
- 第2号議案 平成28年度収支予算案の承認について
- 第3号議案 平成28年度臨時評議員会の招集について
- 第4号議案 総務運営委員の委嘱について
- 第5号議案 事務局長選任の承認について
- 第6号議案 規程の一部改正について

1 平成28年度運営方針

県内の危険物施設の事故件数は、平成17年以降は毎年40件程度で推移していましたが、平成25年からは減少傾向に転じ、ここ3年は概ね30件前後で推移しております。地区支会会員事業所におかれては、事故防止への取組を継続され、事故の減少に努力していただきたいと思います。

危険物に起因する災害の防止を目的としている当協会にとっては、この減少傾向を継続させるため、危険物の安全管理体制の確立と危険物取扱者の資質向上を促進するとともに事故情報の共有化や施設数が増えてきているセルフ給油所における一般県民の取扱不注意による事故防止も含めた教育広報事業に積極的に取組み、会員及び県民の利益の増進につながるよう努めていきます。

なお、賛助会員の募集を継続するとともに、各地区支会の協力を得て未加入事業所の加入促進を図ります。

2 事業計画案の概要

(1) 公益目的事業

ア 試験準備講習事業 (日程等の詳細は別項参照)

「危険物取扱者」の資格保有者が増えることは、危険物に起因する事故の防止及び安全の確保に直接つながると考えており、平成28年度も乙種第四類の講習会を開催します。

なお、平成25年度から取り組んでいる1日講習、土日開催、主要都市での夏休み中開催を継続し、受講料は据え置きとします。

また、申込み方法は、往復ハガキによる申込み又はインターネットを利用した電子メールによる申込みの二方法で受講者の便宜を図ります。

受講見込み数は、670人と見込みます。(平成26年度実績と同数)

※1日講習は、5月10日(火)長岡、10月2日(日)新潟、10月15日(土)上越の3回。夏休み中開催は、7月27日(水)～28日(木)三条、8月1日(月)～2日(火)上越、8月3日(水)～4日(木)新潟の3回。

	平成28年度計画	平成27年度
開催地	7地区	7地区
実施回数(乙種4類)	15回	15回
受講者数	670人	696人

イ 危険取扱者保安講習事業 (日程等の詳細は別項参照)

危険物取扱者は、消防法の規定により保安講習を受けなければなりません。平成28年度においても、



遠藤幹夫理事長挨拶



理事会



中西副理事長、遠藤議長、中村副理事長

《 当協会のホームページで講習の受付状況等について速やかにお知らせしています。 》  
お申し込みの参考にしてください。

新潟県から委託を受け講習会を開催していきます。受講者の見込み数は、この講習の受講義務が3年毎ですので、25年度の実績人数(5,002人)やこの周期の過去3回の実績(平均4,958人)を考慮し、4,960人と見込みます。また、降雪の影響がある冬季の開催は昨年同様に2月の新潟のみとしました。

	平成28年度 計画	平成25年度 実績	平成27年度 実績
開催地	12地区	12地区	13地区
実施回数	一般(その他)	36回	37回
	給油取扱所	6回	7回
	コンビナート	6回	6回
	合計	48回	49回
受講者数	4,960人	5,002人	5,203人

**ウ 教育広報事業**

危険物の安全管理体制の確立と危険物取扱者の資質向上を図るため、各種の情報提供及び研修会を開催します。

- ① 機関紙「協会だより」の発行：年3回  
県からの保安情報等を掲載した「協会だより」を発行し地区支会・地区協会会員へ各種の情報提供等を積極的に行います。
- ② 事故事例の発行：年1回  
事故情報を共有し同種の事故の発生を防止するため、県の監修を得て、県内及び全国の事故事例を選択し、事故原因やその対策等のコメントを示した事例集を作成し、地区支会・地区協会会員に配布します。
- ③ 危険物実務研修会の開催：2か所  
危険物取扱者の保安意識の向上を図るため、県内外の有識者の講演を聴講する研修会を新潟県危険物事故防止連絡会との共催で、新潟市及び上越市で開催します。
- ④ ホームページ等の活用  
一般県民による危険物の取扱上の事故等の減少を図るため、ホームページ等を活用して、セルフ給油所におけるガソリンの取扱や家庭での灯油の取扱の留意点等の啓発を行います。

**エ 危険物安全管理運動事業**

危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発運動が全国的に推進される「危険物安全週間」に合わせて、新潟県と共催で週間行事を実施します。今年度の「危険物安全週間」は、6月5日(日)から6月11日(土)の予定です。

**オ 地下タンク等定期点検事業者認定等事業**

- 全危協との委託契約に基づき定期点検事業者関連業務を実施します。
- ① 地下タンク等及び移動貯蔵タンク定期点検関係
    - ・点検済証交付業務
    - ・定期点検事業者認定、再認定業務
  - ② 地下タンク等及び移動貯蔵タンク認定事業者実態調査

**(2) その他事業**

**ア 表彰事業**

危険物安全功労者等を表彰することによって、危険物の安全管理体制の整備促進及び安全意識の普及啓発を図ります。

本協会の優良事業所等表彰事業は、表彰式を5月25日(水)に開催する予定です。

関危連表彰、全危協表彰、保安功労者等知事表彰及び消防庁長官表彰についても例年どおり行われます。

**(3) 諸会議の開催等**

臨時評議員会、第1回理事会、優良事業所等表彰式及び受賞者懇親会は、5月25日(水)に「新潟東急REIホテル」(ラマダホテル新潟に名称変更予定)で開催します。

各会議の実施回数は下記のとおりです。

理事会	3回
評議員会	2回
監事会	1回
正副理事長会議	2回
総務運営委員会	2回
事務局会議	2回
受験準備講習講師打合せ会議	1回
保安講習講師打合せ会議	1回
企業・専任講師会議	1回

※理事会及び評議員会のうち1回は、書面による開催とします。

**3 収支予算の概要について**

(経常収益)	35,961千円
(経常費用)	36,240千円
差引	△279千円
うち公益目的事業	
(経常収益)	27,114千円
(経常費用)	30,112千円
差引	△2,998千円

平成27年度の資金調達及び設備投資の見込については、どちらも予定はありません。

(事業計画書、収支予算書は、協会ホームページに掲載します。)

**4 平成28年度臨時評議員会の招集について**

転勤等により辞任された評議員の後任評議員の選任及び改選期を迎える理事の選任並びに平成27年度事業及び決算状況について報告するため平成28年5月25日(水)に臨時評議員会を招集することが議決されました。

**5 総務運営委員の委嘱について**

関係地区支会から7名の委員が推薦され、委嘱が決定されました。

地区支会名	氏名
三市北蒲原	小林 純男氏
新 潟	高橋 秀松氏
五泉東蒲原	近藤 伸一氏
燕・弥彦	山田 貢市氏
長 岡	江畑 正人氏
小 千 谷	岡元 学氏
上 越	小林 隆浩氏

**6 事務局長選任の承認について**

新事務局長として山崎俊雄氏が承認されました。

**7 規程の一部改正について**

財務規程や事務決裁規程等の一部改正について承認をいただきました。

## 賛助会員の募集について

当協会は、社会公共の安全に寄与するため、危険物実務研修会や協会だより等を通じ、防災意識を普及啓発すると同時に、危険物取扱者保安講習や資格取得を目指す方々を対象とした講習会等の公益目的事業を展開しています。

当協会の目的に賛同し、活動に協力してくださる法人様、個人様から年間を通じて賛助会員を募集しています。賛助会員の皆様には、当協会発行の「協会だより」(年3回発行)をお送りするほか、協会の「ホームページ」及び「協会だより」でご芳名等を紹介させていただきます。

なお、公益財団法人である当協会に対する賛助会費は寄附にあたりますので税制上の優遇措置が設けられています。詳細につきましては、当協会のホームページをご覧ください。

## 受験準備講習会に参加しませんか!!

危険物取扱者試験乙種第四類 受験準備講習会は、平成28年度も昨年度同様に受講者の参加しやすさに配慮して開催いたします。(詳細な日程等は、8ページを参照してください。)

### 講習会で受講者をお願いしているアンケート調査について

アンケート調査の項目は殆ど選択式としていますが、講習会の総合的な評価となる「受験勉強の参考となるよい講習会だった」という項目については93%の方が選択されており、大変良い評価をいただきました。

試験に合格するためには覚えなければならないことも多いので講習会後の効率的な自習が不可欠ですが、このために必要な「試験に重要な部分」が解った方の割合は三科目平均で82%となりました。また、「講師の説明方法、話し方」についても概ね8割以上の方からよかったとの評価をいただきました。

一方、「今後の自習への自信が持てた」方については、覚えることが多いことに加え、物理・化学については苦手意識がある方もおられるためか三科目平均で61%となりましたが、平成26年度の調査結果より5%向上しました。

### 受験を終えた方への聞き取り調査結果

協会では、試験終了後に一部の講習参加者にたいして、試験の合否や自習実施状況等について聞き取り調査を行っています。

協会では受講者に「今後の学習の進め方」を配布して講習会後の自習が大切であることや、どのように自習をした方がよいかを説明しているところですが、不合格だった方はほとんど「自習は何もしなかった」、「今後の学習の進め方に従わなかった」という方でした。

一方、合格された方は「今後の学習の進め方」に従ってしっかりと自習された方でした。

また、試験を終えてみて改めて講習会にたいする改善点についてお聞きしたところ、殆どの方から「特にない」という回答をいただきました。

協会としては今後とも「試験対策に徹した講習」となるよう、出題傾向を念頭に置いたメリハリのある講習を行ってまいりますので、危険物取扱者の養成に役立てていただきたいと思います。

講習会への参加、資格の取得は従業員のスキルアップにもなりますので、是非受講をご検討ください。

## 受験準備講習のお申し込みは簡単なインターネットで

平成27年度から、受験準備講習のお申し込みは従来からの書面(往復はがき)による方法に加え、インターネットでも行えるようになりました。

当協会のホームページから「受験準備講習のお申し込み」を選択していただき、画面の表示に従って入力し、最後に確認をクリックすることで当協会へ

送信されます。受講料は、郵便局備え付けの「払込取扱票」を用いて協会の振替口座へ払い込んでいただくこととなります。

従来からの書面による方法でも受け付けており、申込票は各地区支会事務局に用意してあります。

詳しくは、「危険物取扱者試験乙種第四類 受験準備講習受講案内」をご覧ください。

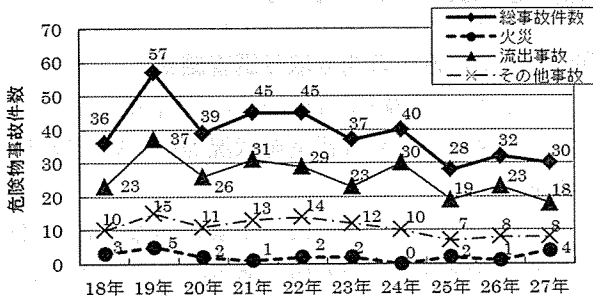
# 施設の腐食疲労等劣化による流出事故をなくそう！ ～漏れるまで使いますか？ その施設～

新潟県防災局消防課

県内における事故件数の推移は図1のとおりで、ここ10年間で県内の危険物施設が概ね2割減少したこともあって、平成25年からは概ね30件で推移しています。

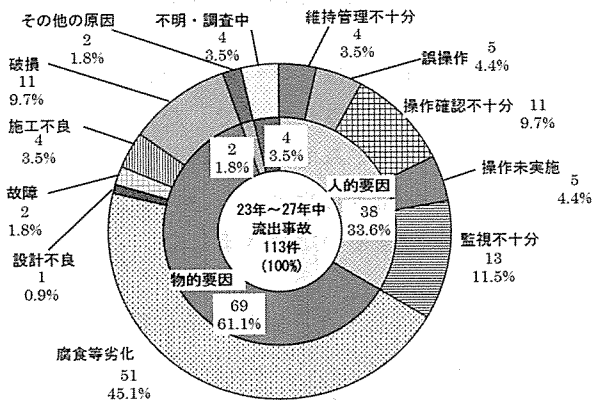
県では、これまで最も事故件数が多い施設である「給油取扱所」における事故防止対策について紹介してきました（平成27年4月号、平成28年1月号）。今回は事故発生件数の約3分の2を占める流出事故のうち、「腐食疲労等劣化」による事故対策について紹介します。

図1 過去10年間の事故件数の推移



## 1 新潟県における流出事故について —新潟県は流出事故が極めて多い—

図2 流出事故の要因別件数



過去5年間の事故167件のうち、流出事故は113件で全事故の3分の2を占めています。

平成22年から26年の危険物施設1万件当たりの流出事故件数は、全国が8.6件、県内が15.6件で、県内の流出事故発生割合は全国の1.8倍にもなっています。

また、全国の流出事故のうち腐食疲労等劣化によるものの割合は36.2%ですが、県内で平成23年から27年に発生した113件の流出事故のうち、「腐食疲労等劣化」によるものが51件（45.1%）となっており、県内ではこの要因による流出事故が特に多く発生していることがわかります。（図2）

## 2 腐食疲労等劣化による流出事故について

主な流出箇所は、地下配管17件（33%）、地上配管12件（24%）で過半を占めており、配管の事故防止対策を進めていく事が急務と考えられます。（図3）

また、これらの事故を起こした配管の経過年数（不明な場合は施設設置からの経過年数）をみると、30

図3 腐食疲労等劣化による流出箇所

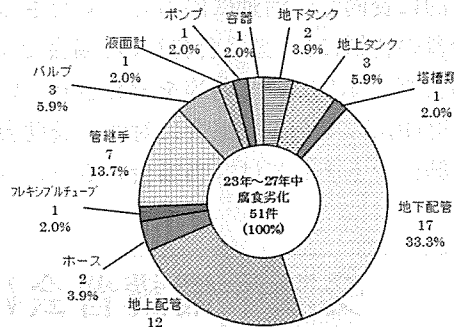
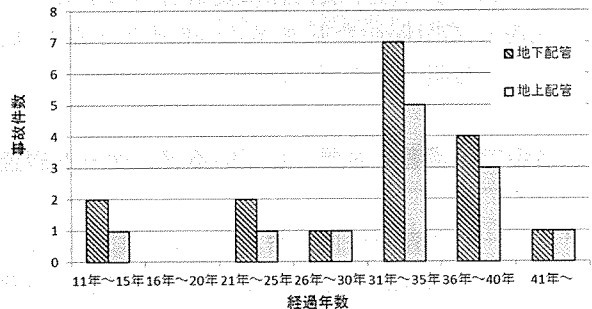


図4 配管系の経過年数別事故件数



年を過ぎると流出の危険性が非常に高くなるのがわかります。（図4）

## 3 県内の主な事故事例

### ① 設置後15年の埋設配管

腐食しにくいポリエチレン被覆鋼管を使用していたが、流出した箇所は溶接継手近くの被覆を除去したところであった。巻いてあった防食テープに凹みがあり、剥がしたところ孔食があった。同様な凹みは多くあり、この原因は、埋め戻す際に山砂でなく碎石混じりの土を使用したため配管埋設時の転圧作業時に防食テープを損傷させたと考えられる。

また、近年、多く使用されているポリエチレン被覆鋼管は、敷設の際に被覆の損傷防止の観点から、配管の周囲には均一な山砂により埋め戻す配慮が必要です。

### ② 設置後21年の埋設配管

溶接継手近くの被覆を除去したところに防食テープを巻いていたが、巻き方が不十分で孔食が発生した。

### ③ 設置後13年の地上配管

配管を保温材で覆っており、配管外面に雨水が侵入しないように保温材外面に板金施工がしてあるが、この継ぎ目から雨水が侵入して腐食した。

### ④ 設置後40年の地上配管

防食テープを巻いていたが、流出した箇所は配管サポートとの接触部で、防食テープを確実に巻くことが出来にくい部分で、テープの隙間から侵入した塩分を含む水により腐食が進行した。

4 腐食疲労等劣化による流出事故防止対策

(1) 地下配管

ア 施工時の対策

3の事故例でもわかるように、不適切な施工による事故も多いので、信頼性の高い事業者から腐食しにくいような設計施工していただくとともに、危険物取扱者が施工時の立会をおこなって、間違いのない施工をすることが重要です。

イ 先手を打った更新

施工時に十分腐食対策を行っても金属の腐食は避けることはできないので、漫然と使い続ければ、将来必ず流出事故が発生します。地下配管からの流出事故は発見が遅れ、地上配管と比べ流出量が多くなりやすく、事後処理に多くの費用が必要となります。

事故のリスクが高くなる設置から30年後を目途に、事故が発生する前に計画的な更新を行う事が必要と考えられます。その際、腐食のおそれがなく、また、定期点検の実施間隔の緩和措置が適用となる場合もある強化プラスチック製配管での更新をご検討ください。詳しくは最寄りの消防機関にご相談されることをお勧めします。

ウ 早期発見

地下配管の流出事故の早期発見には、法定の定期点検の一項目である漏れの点検だけでなく、受入量、払出量及び貯蔵量を定期的に突合せる在庫

管理が有効です。これを確実に行って流出の兆候を見逃さずに早期に対応することが重要です。

(2) 地上配管

地上配管の腐食防止としては塗装が一般的ですが、再塗装の時に漫然と前の塗装の上に塗り重ねることは事故の予兆を塗り込める結果となります。特に継手部等はケレン処理を十分に行って、見難い部分も入念に点検した後に塗装を行う必要があります。

地上配管は目視で点検できるので、日常点検等を確実に行うことで流出事故を未然に防止することが可能です。重点項目を設定するなどマンネリ化を防ぐ工夫を行うとともに、配管の下部など見にくい所も丁寧に観察し、知覚をフルに活用して真剣に実施することが重要です。

5 おわりに

過去5年間の流出事故について調査したところ、新潟県は腐食疲労等劣化による事故発生割合が非常に高く、施設の更新を始めとする腐食劣化対策が進んでいないことを思わせる結果でした。

事故が発生した時の損失と施設更新等に係る経費を勘案して、流出事故の未然防止と早期発見の対策を講じることが事業経営の面からも重要であることや、「安全にはコストが必要である」ことをご理解いただきますようお願いいたします。

**違反率が改善されるも、更なる点検、確認の徹底を！！**  
**移動タンク貯蔵所等の立入検査結果がまとまる**

県内で平成27年11月を中心に行われた移動タンク貯蔵所等の立入検査結果について、平成28年1月18日付けで新潟県防災局消防課長から通知があり、地区支会・地区協会会員に対し、適正な維持管理及び基準遵守の徹底を図って危険物輸送中における保安を確保することを周知するよう依頼がありました。

検査結果によれば、基準不適合率は平成26年より改善されたものの、依然として全国平均より高い状況が続いています。危険物の移送又は運搬中の事故は、周辺住民に及ぼす影響が大きく、重大な事故の発生も懸念されます。

不適合件数が多い項目は下記のとおりですが、「定期点検」、「電気設備・接地導線」、「保安講習」で違反率が大幅に改善されました。「消火器」についても違反率は改善されましたが、最大の違反である未設置及び不足が大幅に増え6件もありました。一方、「完成検査済証」は違反率が増加しました。

- ・定期点検に係る義務違反 35件
- ・表示及び標識の未設置等 22件
- ・消火器の未設置等 15件
- ・配管及び弁類の基準 13件
- ・完成検査済証等備え付け 22件
- ・電気設備及び接地導線の不良等 18件
- ・保安講習義務違反 13件

基準不適合は小型の移動タンク貯蔵所で多いとのことですが、移送、運搬に携わる方は、再度以下の点の徹底をお願いします。

- ・確実な定期点検を行って、消火器などの資器材の整備や、設備の点検・修理を行う。
- ・従業員の管理を確実に行って、保安講習の受講漏れ等がないように留意する。

最近3年間の立入検査実施車両数及び基準不適合車両数の推移

年 度	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所							危 険 物 運 搬 車 輛								
	実施車両数		基準不適合車両数		無許可車両数		不適合率 (%)	実施車両数		基準不適合車両数		認識状況不良車両数		不適合率 (%)		
	県	全国	県	全国	県	全国		県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	
平成25年度	673	22,698	180	4,147	1	27	26.9	18.4	12	665	1	79	0	5	8.3	12.6
平成26年度	658	22,465	170	4,267	1	20	26.0	19.1	10	601	0	69	0	3	0.0	12.0
平成27年度	608	22,459	122	3,895	0	41	20.1	17.5	7	574	2	60	0	1	28.6	10.6



三市北蒲原地区支会

FMラジオ放送で啓発広報を行っています

当支会では、危険物安全週間中、新発田市のFM放送局に依頼して危険物事故防止の啓発広報を行っています。

消防本部と危険物安全協会のお知らせとして、期間中の7日間、20秒間の放送を1日5回、CM放送としてFM電波に乗せています。

併せて、1日3回、番組内の生放送で、担当のアナウンサーから危険物の性質や危険性、取扱い等に係る注意事項や事故事例など直接視聴者に訴える放送もを行っています。

当支会の会員にあっては、期間中、危険物事故防止の意識の高揚と啓発広報を目的に「危険物安全週間」の懸垂幕を事業所の玄関など見えやすいところに掲げています。

また、ボールペンとシャープペンシルに危険物安全

週間の標語等を印刷し、各種イベントなどで危険物の事故防止を呼び掛けながら配布しています。

これからも地元消防本部と連携を図りながら危険物の事故防止と火災予防に努めてまいります。



見附市危険物安全協会

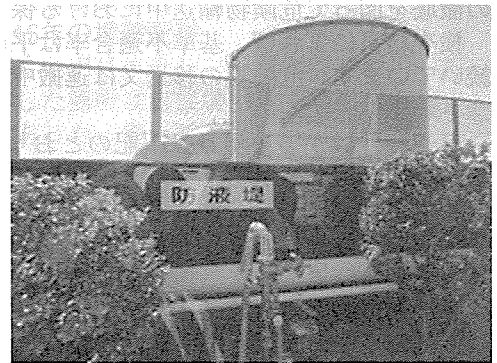
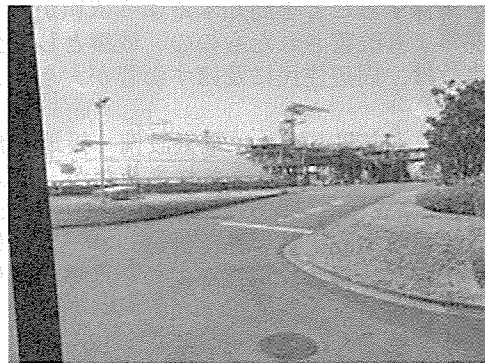
東京ガス株式会社根岸LNG基地を視察しました

平成27年10月25日、26日に会員による視察研修が行われ、今年度は東京ガス株式会社根岸LNG基地を視察しました。

現在、東京ガス株式会社のLNG基地は3基地が稼働しており、根岸LNG基地は、首都圏のガス需要増加と環境問題に対応するため、日本で最初にLNGを輸入した基地で、関東圏を中心に都市ガスを供給することを主な事業としています。

参加者からは「基地の安全、保安、防災に対して広大な施設内を毎日、徒歩で2時間以上かけてガス漏れを点

検、事故訓練専用オペレーションルームで事故想定を作り、若い職員に事故対応訓練を行っているという盤石の事故防止対策を見学でき、大変有意義な視察研修であった」と感想をいただきました。



平成28年度「危険物安全週間推進標語」入選作品

(敬称略)

○最優秀作 (消防庁長官賞)

危険物 決める無事故の ストライク

千葉県勝浦市 加藤義秋

○優秀作 (一般財団法人全国危険物安全協会理事長賞)

危険物 無事故で守る エースはあなた

愛知県名古屋市 小寺光雄

## 平成28年度 危険物取扱者保安講習日程 (ご案内)

危険物取扱者免状所有者で、製造所等において現に危険物の取り扱いに従事されている方は、3年に1回保安講習の受講が消防法で義務づけられています。

当協会では、平成28年度も新潟県知事から委託を受けて、次のとおり保安講習を開催いたしますので、お持ちの危険物取扱者免状を確認され、受講期限内に忘れずに受講してください。

なお、受講期限について法令が改正されて、平成24年度からは免状の交付日又は前回の講習受講日から3年以内ではなく、3年後の年度末(3月31日)となりました。事業者におかれましては、この点も考慮されて計画的に受講されますようお願いいたします。

受講の申請方法や、留意点などは別途発行しております「保安講習受講案内」又は協会HPをご覧ください。

「保安講習受講案内」、「受講申請書」は、消防本部(署)、当協会、各地区支会・地区協会事務局に用意してあります。

### 平成28年度 危険物取扱者保安講習日程

講習日	講習会場	講習種別			定員	受講申請 受付期間	講習会場所在り地
		一般 (その他)	給油 取扱所	コンビ ナート			
6月13日(月)	新潟テクノスクール	午前			120	5/9~5/23	新潟市中央区鑑西1-11-2
		午後			120		
6月15日(水)	アミューズメント佐渡	午前			120	5/11~5/25	佐渡市中原234-1
		午後			120		
6月21日(火)	糸魚川建設会館	午前			84	5/17~5/31	糸魚川市南押上3-3-36
		午後			84		
6月23日(木)	上越人材ハイスクール	午後			120	5/19~6/2	上越市高土町3-1-15
6月24日(金)		午前		午後	各120		
6月28日(火)	長岡新産管理センター	午前			108	5/24~6/7	長岡市新産2-1-4
		午後			108		
7月6日(水)	新潟テクノスクール	午前		午後	各120	6/1~6/15	新潟市中央区鑑西1-11-2
7月12日(火)	新発田市生涯学習センター	午前	午後		各300	6/7~6/21	新発田市中央町5-8-47
7月20日(水)	燕三条地場産センターメッセピア	午前	午後		各150	6/15~6/29	三条市須頃1-17
7月22日(金)	十日町地場産センタークロス10	午後			150	6/17~7/1	十日町市本町6
8月9日(火)	新潟テクノスクール	午後	午前		各120	7/5~7/19	新潟市中央区鑑西1-11-2
8月23日(火)	村上市民ふれあいセンター	午後			135	7/19~8/2	村上市岩船3270
8月25日(木)	新潟テクノスクール	午前			120	7/21~8/4	新潟市中央区鑑西1-11-2
		午後			120		
9月2日(金)	長岡新産管理センター	午前	午後		各108	7/29~8/12	長岡市新産2-1-4
9月6日(火)	糸魚川建設会館	午前			84	8/2~8/18	糸魚川市南押上3-3-36
		午後			84		
9月9日(金)	柏崎エネルギーホール	午前			120	8/5~8/19	柏崎市駅前2-2-30
		午後			120		
9月12日(月)	南魚沼市ふれ愛支援センター	午後			150	8/8~8/22	南魚沼市坂戸399-1
9月14日(水)	上越人材ハイスクール	午後			120	8/10~8/24	上越市高土町3-1-15
9月15日(木)			午前	午後	各120		
10月4日(火)	新潟テクノスクール	午前		午後	各120	8/30~9/13	新潟市中央区鑑西1-11-2
10月26日(水)	小千谷市総合福祉センターサンラックおちや	午後			150	9/21~10/5	小千谷市大字桜町5140
11月2日(水)	新発田市生涯学習センター	午後			300	9/28~10/12	新発田市中央町5-8-47
11月8日(火)	新潟テクノスクール	午前	午後		各120	10/4~10/18	新潟市中央区鑑西1-11-2
11月10日(木)	長岡新産管理センター	午前			108	10/6~10/20	長岡市新産2-1-4
		午後			108		
11月18日(金)	燕三条地場産センターメッセピア	午後			150	10/14~10/28	三条市須頃1-17
11月22日(火)	上越人材ハイスクール	午前		午後	各120	10/18~11/1	上越市高土町3-1-15
2月14日(火)	新潟テクノスクール	午前			120	1/10~1/24	新潟市中央区鑑西1-11-2
		午後			120		
2月15日(水)		午前		午後	各120		

〈午前の講習〉 受付時間：9時00分～9時30分 講習時間：9時30分～12時30分  
 〈午後の講習〉 受付時間：1時00分～1時30分 講習時間：1時30分～4時30分

**降雪期の開催は、新潟市の2日間のみです。十分留意されて、計画的に受講してください。**

合格への近道

平成28年度 危険物取扱者試験乙種四類 受験準備講習(ご案内)

危険物取扱者試験乙種第四類の受験予定者を対象とした「受験準備講習会」を次のとおり開催します。講習会では、(一財)全国危険物安全協会が作成したテキストを用いて、受講生の要望である「試験対策に徹した講習」となるよう、重点事項を示してポイントを絞った内容とし、また豊富な例題が収録されている「例題集」も適宜解説しながら、わかり

やすく説明しています。講習会は、2日間で修了する開催と、1日で修了する開催がありますので、お間違えのないようお願いいたします。なお、受講料等はどちらも同額です。なお、受講のお申込みは、書面(受講申込書)で行うほか、インターネットでも行えます。(受講案内参照)

(「講習案内」、「受講申込書」は、当協会、各地区支会・地区協会(消防本部)に用意してあります。)

平成28年度 危険物取扱者試験乙種第四類受験準備講習日程

Table with 5 columns: 講習日, 講習会場, 定員, 申込受付期間, 講習会場所所在地. Rows include dates from April to January across various venues like Amusement佐渡, Niigata Tech School, etc.

講習時間 2日講習の場合 1日目 午後1時30分より午後4時30分まで(基礎物理/基礎化学) 2日目 午前9時30分より午後4時30分まで(燃焼消火/性質等、関係法令) 1日講習の場合 午前9時30分より午後6時30分まで(基礎物理/基礎化学、燃焼消火/性質等、関係法令) (1日講習は、5月10日(長岡市)、10月2日(新潟市)、10月15日(上越市)の3回のみです。)

保安講習、準備講習とも、定員に余裕がある場合は、受付期間経過後でも受け付けます。協会ホームページの各講習の「受付状況」をご覧ください。

《参考》平成28年度 危険物取扱者試験日程

(一財)消防試験研究センター 新潟県支部

Table with 5 columns: 試験日, 受付期間(電子申請, 書面申請), 試験の種類, 試験実施地. Rows show exam dates from June 2018 to March 2019.

「受験」の申込先は、(一財)消防試験研究センター新潟県支部(025-285-7774)です。 (「試験案内」、「試験申込書」は、消防本部(署)、県防災局消防課、受験申込先に用意してあります。)